

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)

施策名 道路環境の充実と道路網の整備

施策コード 5060102

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 快適で住みやすいまちづくり (快適・憩い・生活基盤)	節 第1節 道路・交通
	施策	道路環境の充実と道路網の整備	

基本方針	
<ul style="list-style-type: none"> 市民生活に直結する道路施設のうち、特に橋梁は長寿命化修繕計画のもと効率的、効果的な維持管理の充実を図ります。 旧市街地における緊急車両等の通行が困難な地域のための都市計画道路の整備を推進します。 都市計画道路や駅前広場の整備を進め、交通ネットワークの充実を図ります。 歩道の段差解消及び交通管理者との協働による歩行者空間の整備を推進します。 	

現況と課題	
<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数を経過した施設等の計画的な維持修繕による長寿命化を図っていく必要があります。 旧市街地地域は狭隘(きょうあい)道路が多く、防災性の向上と道路環境の改善を進める必要があります。 計画的なまちづくりに必要な都市計画道路の早期整備が必要です。 人に優しい道路空間となるよう、安全で安心に移動できる施設整備が求められています。 	

施策目標	
対象(誰を、何を、どこを)	
市民	
意図(どのような状態にしたいのか)	
道路ネットワークなどの交通基盤整備を進め、交通の円滑化を図り都市の活力と魅力を生み出す交通体系を形成します。	

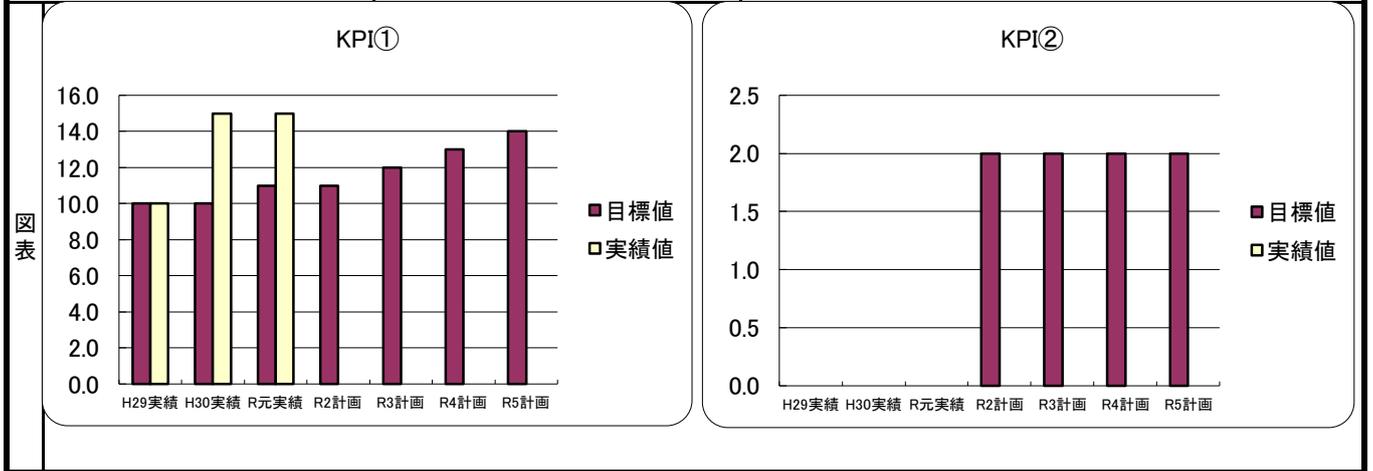
3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	37.8						
重要度(偏差値)	53.8						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H30決算	R元決算					
コストの内訳	人件費	千円	82,528	78,739				
	事業費		168,413	161,183				
	フルコスト		250,941	239,922				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		740	687				
	市債		0	0				
	その他		23,431	16,149				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		226,770	223,086				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		144,242	144,347				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		橋梁の修繕済数					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	10.0	10.0	11.0	11.0	12.0	13.0	14.0
実績値	10.0	15.0	15.0				
達成度	100.0	150.0	136.36				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
橋梁の修繕により、交通の安全性及び市民生活の安全性や安心度の向上につながるため		過年度の実績等により、10年間で8橋(年間1橋)法定点検年度2022年(令和4年)、2023年(令和5年)非実施。		主要な道路橋についての「長寿命化修繕計画」を策定、計画に基づき順次改修を開始した。			

② KPI 2		事業中の都市計画道路整備完了数					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0
実績値	0.0	0.0	0.0				
達成度	100.0	100.0	100.0				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
2017年度（平成29年度）事業中の3路線の整備完了を根拠とした。 ・熊取駅西線 ・熊取駅西1号線 ・泉佐野土丸線	令和5年度に熊取駅西線、熊取駅西1号線を、令和10年度に泉佐野土丸線の整備完了を目標値設定した。	都計道路泉佐野土丸線について事業認可取得し用地買収を開始。都計道路熊取駅西線及び熊取駅西1号線については工事継続。



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	令和元年度は主要な道路橋についての「長寿命化修繕計画」を策定し、計画に基づき、危険度の高い橋梁から順次改修を開始した。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	満足度が平成24年度30.4から平成30年度37.8と向上したが、引き続き、道路交通の安全性向上及び生活環境改善を図るため、歩道及び舗装改修等の維持管理をし、生活道路劣化等の苦情、地元要望の高い道路新設改良の対応に努める。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	生活密着型で必要な基盤整備は進めるべきとの潮流がある。
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	B	予算の削減に伴い舗装劣化の進んだ生活道路が増え、市民並びに地元要望が増えている。今後は国庫補助を活用しながら舗装の更新を行い安全性の向上を図っていきたい。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01037410	土木管理事業	40,875	15,199	14,153	0	B
2	01037420	りんくうタウン共同溝管理事業	252	22,998	7,208	0	B
3	01039200	道路等施設保全事業	18,806	47,604	47,604	0	B
4	01070140	道路維持事業	18,806	75,382	75,382	0	B
合計			78,739	161,183	144,347	0	